経営比較分析表 (平成30年度決算)

熊本県地方独立行政法人くまもと県北病院機構 公立玉名中央病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報		
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	300床以上~400床未満	非設置		
経営形態	診療科數	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2		
直営	21	対象	ド透Ⅰ未	救 臨 災 地 輪		
ᄱᅅ	建物面積(ml)	不採算地区病院	看護配置			
-	19.013	非該当	7:1			

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)	
302	-	-	
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)	
-	-	302	
稼働病床 (一般)	稼働病床 (療養)	稼働病床 (一般+療養)	
302	ī	302	

- グラフ凡例
- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

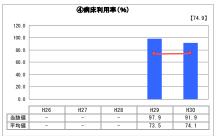
- ※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン (放射線) 診療
- ※2 教…教急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

1. 経営の健全性・効率性

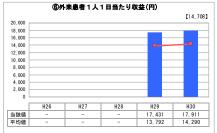










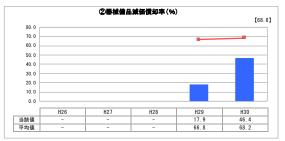






2. 老朽化の状況







公立病院改革に係る主な取組(南近の実体時期)

_	ALMMATIC			
	再備・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入	
	- 年度	平成29 年度	- 年度	

I 地域において担っている役割

当病院は、玉名地域で最も多くの病床数を抱え、地域の中核を担う病院である。救急告示病院として、病 院群輪番体制により地域の二次救急を担っている。

平成9年に有明保健医療圏域内で唯一の災害拠点病院の指定を受け、災害時の救急医療の拠点機能も果たすととも、地域医療支援病院として地域の医療資源を支えており、また公立病院として地域の民間病院が受け入れ困難な高度医療、教急・小児等の不採算・特殊部門に関わる政策的医療の提供を行なう急性期病院として里要な役割を担っている。

Ⅱ 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支、医棄収支、病床利用率、外来患者1人1日 当たりの収益については平均値を上回り安定した状況 を維持している。また、熱ち費、材料費等についても 平均値を下回っており、効率的な経営状況を維持して いる。ただ、入院患者1人1日当たりの収益については 平均値を下回っており、原因としては外科、整形外科 の手柄件数、心カテ件数が他院よりも少ないことが考 えられる。

2. 老朽化の状況について

現在、昭和56年建設での建物で耐震基準を満たしていない病棟が存在するが、令和3年3月開院予定の新病院については免震構造を有しておりそれまでの期間は現存の施設での対応とする。

医療機器については、老朽化が進んでいるものは新 規購入等を検討し、使用可能なものについては新病院 への移設も予定している。

全体的

常動医師数をH29年度の64人から69人へ増員することが出来た。内訳としては、病理診断科の新設、皮膚科・泌尿器科・総合診療科の増員により機能強化が出また。

今後は新病院開設での今以上の病院機能の向上、効率の。 効果的病院適當を行なえるような組織体制の構築と計画的な患者のコントロール、近隣の医療機関等との更なる連携や協力体制強化に継続して取り組んでいった。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。